

～次世代を担う子どもたちのために～

## ソニービル「東京芝生応援団」贈呈式 第16校目となる小笠原小学校・中学校へ芝生維持管理用品を寄贈 小笠原諸島で新しい芝生と初めての3D体験！

ソニービルは、ソニーの「For the Next Generation」という基本方針に基づき、募金活動や地域貢献、公益活動団体への応援等の様々な社会貢献活動を行っています。その中の一つ、東京都が推進する公立小中学校の校庭の芝生化事業について、2008年6月より約4年、「東京芝生応援団」に参加しています。次世代を担う子どもたちのために、ソニービル来館者100万人ごとに、芝生化の維持管理に関わる備品（例：1,000㎡分の芝生の種と砂など）を寄贈しております。

今回、3月3日（土）に、ソニービルが「東京芝生応援団」に参加して第16校目となる、小笠原小学校・小笠原中学校への贈呈式を行いました。当日の様子と、同時開催した、3D映像上映会の様子をお伝えします。

### 「東京芝生応援団」贈呈式

ソニービルが参加している「東京芝生応援団」は、公立小中学校の校庭の芝生化を推進する活動を行っております。今回、第16校目として、3月3日（土）に小笠原諸島 父島の小笠原村立小笠原小学校・小笠原中学校へ、平成24年10月に全面芝生化される校庭の維持管理に関わる備品として、芝刈り機、除草フォーク、ホームレーキを提供いたしました。

小笠原村立小笠原小学校 校長 大瀧浩之様のコメント：  
「芝生維持管理用品の数々をご支援いただき、感謝申し上げます。平成24年10月の工事完了に向け、現在急ピッチで進められています。小笠原の碧い海と青い空・芝生のもゆる緑のコントラストが楽しみです。校庭全面芝生化の完成を子どもたち・保護者・地域の皆さんは心待ちにしています。」

今後も、ソニービルでは、次世代を担う子どもたちのために、芝生化実施校への支援を続けていく予定です。



ビジターセンター（父島）

### 「世界自然遺産・小笠原諸島 in 3D」を 小笠原・父島で上映！

3月2日（金）、3日（土）に、昨年10月銀座 ソニービルで開催・上映した「世界自然遺産・小笠原諸島 in 3D」の上映会を行いました。「小笠原の島民、特に子どもたちに、3D映像で自分たちが暮らす小笠原の自然を見せてあげたい」という小笠原村 森下一男村長の強い希望から、今回の3D上映会を企画し実施しました。2日間で「世界自然遺産・小笠原諸島 in 3D」を計16回上映した他、沖縄美ら海水族館協力による“3D Sony Aquarium”や、“3D旭山動物園”も上映し、400余名の島民の皆さまにお楽しみいただきました。※3月4日（日）に予定していた母島での上映会は海況不良が予想されたため中止となりました

### 自分たちが住む小笠原諸島を3Dで見て

今回、3D上映会に参加いただいた皆様からは、「普段自分たちの目で見ていたより迫力を感じた。」「東京に行かなくても、3Dを体験できて楽しかった。」という感想や、「ソニービルにとどまらず色々な場所で上映してもらい、小笠原諸島の魅力をもっと多くの人に知ってほしい。」といったご意見もいただきました。

小笠原村 副村長 石田和彦様のコメント：  
「小笠原諸島の美しい自然を多くの方に知ってもらい、みんなが自然を守ろうという気持ちがより広がっていけば嬉しいです。」



## ■「東京芝生応援団」とは

東京芝生応援団は、芝生化に取り組む学校・PTA等及び芝生化事業に賛同する団体・個人で構成され、芝生の維持管理等に携わる学校・PTA等の支援と各学校・PTA等の相互支援の促進などを通じて、校庭芝生化の一層の推進を図ることを目的としています。芝生維持管理への支援として、維持管理物資の提供(肥料・種、管理用具など)、芝生でのイベント開催(スポーツ、環境学習など)を行っています。

2008年6月から参加しているソニービルでは、この活動が認められ、過去には東京都環境賞の環境局長賞を受賞しました。

東京都観光局HP 東京芝生応援団:

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/green/school\\_grounds\\_lawn/support/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/green/school_grounds_lawn/support/index.html)

ソニービルHP 芝生応援団の活動:

<http://www.sonybuilding.jp/csr/shibafu.html>

## ■世界自然遺産・小笠原諸島 in 3D について

日本列島から約1,000km離れた、大小30あまりの島々からなる海洋島・小笠原諸島。2011年6月、日本で4番目のユネスコ世界自然遺産に登録されました。

ソニービルでは2011年10月24日(月)～11月6日(日)の2週間にわたり、8階コミュニケーションゾーン OPUS(オーパス)において、この知られざる神秘的な小笠原の自然を、ソニーの映像美と迫力の3D映像技術でご紹介するイベント「世界自然遺産・小笠原諸島 in 3D ～世界に誇る感動がある～」を開催いたしました。

小笠原諸島の3D映像では、ユネスコ世界自然遺産に登録された独自の生態系、今も原生状態を保ち固有種・希少種が生息する“石門(母島)”や、小笠原特有のボンブルーの“海”、一年を通して会うことができるイルカたちの他、小笠原諸島ならではの大自然をお楽しみいただき、好評を博しました。

世界自然遺産・小笠原諸島 in 3D:

<http://www.sonybuilding.jp/event/ogasawara/>

## ～ For the Next Generation ～

ソニーは、「事業活動を行う世界の各地域において、ソニーの得意とする分野で、時代や社会のニーズに応える活動を行う」という基本方針に基づく社会貢献活動を実施しています。この中で、ソニーの持つビジネス資産である、技術、製品、更にはグループ社員の力を活かし、より効果的な活動を意識し実施しています。

ソニーのCSR活動:

[www.sony.co.jp/SonyInfo/csr/](http://www.sony.co.jp/SonyInfo/csr/)